

令和7年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	3	氏名	仲 亀 恭 平 議員	1 / 2
発 言 項 目				要 旨		答弁者
1 「おいしい給食」で富士宮を元気に！ ～食育・地産地消・国際交流の推進～				こどもたちの「おいしい！」という笑顔は、地域の活力を生み、富士宮市の未来を豊かにする原動力である。学校給食は、ただの食事ではなく、地元の恵みを活かした食育、地域の経済活性化、そして世界との交流を深める大切な場だと考える。そこで、富士宮市が掲げる「フードバレー構想」の強みを学校給食に応用し、友好都市との連携も図りながら、給食をさらに魅力的なものにするため、現状と今後の展望について、以下伺う。 (1) 富士宮市の「おいしい給食」の現状と課題について。 ① 富士宮市にとって「おいしい給食」とは何か、どのような給食を目指しているのか伺う。 ② 福岡市教育委員会が市立小中学校の給食を改善することが報じられ、大きな話題となった。それに対する富士宮市の見解を伺う。 ③ 現状を伺う。 ア 残食率の状況と、その傾向を伺う。 イ 地元食材の給食使用率を伺う。 (ア) 富士宮市産食材の割合は。 (イ) 静岡県産食材の割合は。 ウ 友好都市で生産された食材の給食使用率を伺う。 エ 学校給食供給に参加する新規・若手生産者の増加数について伺う。(2021年度～) オ 最近の米価格の高騰が、給食内容や運営に与える影響について伺う。 カ 学校給食でのお茶の提供はあるのか。 キ 給食に関する苦情・要望件数の推移と、その主な内容、そして市としての対応状況について伺う。 ク 学校における生産現場での体験学習の実施状況を伺う。(例：田植え・稲刈り体験、野菜の収穫体験、お茶摘み体験、酪農体験など) (2) 「おいしい給食」を通じた地域経済・国際交流の推進について。 ① 企業版ふるさと納税を学校給食に活用することで、通常の給食費では提供が難しいような、地域の特産品や高級食材、旬の食材などを提供できないか。 ② 「フードバレー交流」を給食に応用し、交流都市の特産品を富士宮市の給食に取り入れてはどうか。反対に富士宮市の食材を交流都市の給食に提供してはどうか。 ③ サンタモニカ市（アメリカ）、マンドン・デウプール自治体（ネパール）など、富士宮市の友好都市の食文化を取り入れた特別給食を提供してはどうか。		市長 副市長 教育長 関係部長

令和7年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	3	氏名	仲 亀 恭 平 議員	2 / 2
				(3)	「おいしい給食」の質向上と魅力発信の取組について。 ① 学校給食の質の向上のための施策として、全生徒を対象にした「給食に関するWEBアンケート調査」を実施してはどうか。 ② 広報戦略プログラムの展開について。 ア 富士宮市につながりのある著名人やスポーツ選手に「給食応援アンバサダー」になってもらい、給食の魅力を広くPRする広報戦略を考えてみてはどうか。 イ 市の給食の取組を全国に発信するため、「全国学校給食甲子園」への挑戦を検討してはどうか。	
2	安全に花火を楽しむために ～広がる「禁止」から、安心して楽しめる場所へ～			現在、多くの公園で花火が禁止されており、特に夏場になると、子どもたちから「花火ができない」という残念な声を聞く。一方で、花火による火災や騒音、ごみの問題といった課題があることも承知している。 しかし、日本の夏の風物詩である花火は、子どもたちの健全な育成や家族の思い出作りにおいても重要な意味を持つと考える。そこで、以下の点について市の見解と今後の取組を伺う。 (1) 市内で安全に花火を楽しむ場所が不足しているという市民の声が寄せられているが、市は現状をどのように認識しているか。 (2) 子どもたちが安心して手持ち花火を楽しむ場所が減っていることに對し、市としてどのように考えているか。 (3) 市が管理する土地や公共施設で、期間限定でも花火ができる場所として開放することを検討できないか。	市長 副市長 教育長 関係部長	